



第25回参議院議員通常選挙岩手選挙区

公認候補者「平野達男」氏に決定

自民党本部では、7月20日、第25回参議院議員通常選挙岩手選挙区公認候補者として、県連から公認申請しておりました「平野達男（64）」氏を決定しました。今後とも変わらぬご支援と御協力をお願い申し上げます。



ご挨拶
参議院議員 平野 達男

平成28年の夏に、自由民主党に入党させていただきました。様々なことがございましたが、私にとっても、大きな決断であり、政治家としての再出発でもありました。

心機一転、東日本大震災からの復興、台風10号被害からの復旧、農林水産業の振興、中小企業・小規模事業者対策、東芝メモリーの岩手への企業誘致への支援など、これまでの経験を生かしつつ、また県内をできるだけ歩きながら、政策立案中心の活動を続けてまいりました。また、さる7月20日に開催された自由民主党選挙対策本部にて、来年の夏の参議院議員選挙における岩手選挙区候補者として自由民主党公認の決定をいただきました。

私にとりましては、4期目への挑戦、はじめての自由民主党からの出馬となります。皆様方のご理解とご支援があったからこそ、と改めて深く感謝申し上げます。

いまの日本では、まさに、「歴史的な転換点」に立っていることを強く示唆するできごとが進行しています。いくつかの劇的な変化が大きな「潮流」となって動いているのです。ひとつは、いわゆるデジタル技術为基础としたテクノロジーの急速な発展と日常生活への浸透です。第4次産業革命ともいわれる人工知能（AI）、ビッグデータ、IoTといった最先端のデジタル技術が、



参議院農林水産委員会(5/22)

製造、サービス、日常生活など、あらゆる分野において変革をもたらす可能性に、限界はないようにみえます。

こうした技術の進化を受け入れるには、高度な知識と専門性が必要とされる一方、社会不安をもたらす、などいくつかの懸念も指摘されています。

人口減少は、歴史上はじめて自然減によって人口が減っている状況を示しています。高齢化はさらに進みます。安心して子供を産んで育てる環境整備など、人口減少

に歯止めをかける政策はしつかり導入していくとともに、人が少なくなっていくことを前提とした、地域、自治体、国が一体となった対応が必要です。さらには、朝鮮半島の非核化をめぐる問題、貿易をめぐる不透明性など激動する国際関係、地球温暖化と自然災害の多発など、政治が果たすべき役割は、これまで以上に、その重みと責任を大きく増しています。政治家の覚悟と資質も、一層強く問われます。止むことのない変化をつづける国内外の諸情勢、さらに先の見通しの不確実性が増すなか、日本にとって必要なことは、安定した政治のもと、しつかりとした政策を練り上げ、確実に実行していくことです。同時に、党内における活発な議論、国会における実のある政策論争をさらに拡大、進化させていかなければなりません。今、こうした取り組みの中心となり、国の舵取りができるのは、自由民主党だけです。東日本大震災からの復興は、まだ道半ばです。まちづくり、生業の再生など復興の完成に向けて、さらに後押ししてまいります。岩手の基幹産業たる農林水産業、中小企業・小規模事業者振興には、わたくしの政治活動の根幹として引きつづき取り組んでまいります。

岩手のため、国のため、参議院議員として一所懸命の活動を続けてまいります。さらなるご指導と、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願いを申し上げます。



中小企業・小規模事業者政策調査会